

ふりがな	おおつか えいいち		※2019年4月21日現在
氏名	大塚 英一	年齢	45歳
所属 (政党・会派等)	公明党	当選回数	1回
略歴	昭和48年10月7日生まれ 兵庫県宍粟市山崎町出身 平成9年京都産業大学卒業 平成27年市議会議員初当選(現在1期) 平成28、29年度 臨海地域整備対策特別委員会副委員長 平成29年10月 防災士取得 現在 公明党泉大津支部副委員長 厚生文教常任委員会副委員長 泉大津市文化協会会員 泉大津緑化ボランティア協議会顧問 泉大津市囲碁クラブ会員総務担当 囲碁四段の免状取得 泉大津 AI 研究会顧問 旭町自治会自主防災部・広報部部长		

【設問1】 『青少年が夢を持って社会参画できるまち』について、お聞かせください。

※<第4次泉大津市総合計画 施策2>「学びあうひとづくり 彩あるまちづくり」関連

(重要だと思うテーマ) ※30字以内
青少年を地域活動の真ん中へ誘導する仕組み
(自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
簡単に言いますと自治会などの活動に青少年の方も加わっていただき一緒になって自治会の活動を盛り上げる取り組みに参画して頂くということです。各自治会では加入率が減少し、自治会活動の担い手が少なくなってきました。そこで青少年の方にも入っていただきいろんな世代の方と触れ合いながら、自治会の企画に参画することにより、達成感や自己肯定感も得られ、社会へ出たときにきっと役に立つと思います。

【設問2】 『市民とともにつくる災害に強い安全なまち』について、お聞かせください。

※<施策4>「安心で心やすらぐまちづくり」関連

(重要だと思うテーマ) ※30字以内
あいさつが自然にできる関係づくり
(自由記述欄) ※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
災害に強いまちにしていくには様々な方策があります。避難訓練の頻度を上げたり、防災士取得者を増やしたり、防災講演会を定期的に行うのもあると思いますが、それと合わせて地域のご近所の方とあいさつができる顔見知りの関係をつくるのが大事であると思います。いざ災害のときにちょっと声をかけていただく、気遣っていただく、またちょっとしたお手伝いをしていただくだけでもずいぶん心強くなるのではないのでしょうか。

【設問3】 『誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり』について、お聞かせください。

選択テーマ 1:子ども・子育て支援 2:地域福祉 3:高齢者福祉
4:障がい福祉 5:保健・医療

※<施策3>「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ)	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。
子ども・子育て支援	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
本市においても少子化の傾向が表れていますが、一方で共働き世帯の増加や、就労形態の多様化、ひとり親世帯の増加など、保育に対するニーズが高まってきています。こうしたニーズに対応できる体制づくりを行うことが重要であり、そうすることにより、より「選ばれる泉大津」に繋がっていくと思います。	

【設問4】 『人と企業が集まりアイデアと活気にあふれるまち』について、お聞かせください。

選択テーマ 1：地場産業の振興 2：湾岸ベイエリアの活用 3：ICT・AI化の推進
4：その他

※<施策6>「誇れる・選ばれる・集えるまちづくり」関連

(重要だと思ふテーマ)	※選択テーマからお選びいただきご記入ください。 その他の方は30字以下で記入
ICT・AI化の推進	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
近年の生産人口年齢の減少は、大企業、中小企業、業種、職種問わず、国内において深刻な問題です。そうした状況の中でAIは急速に進歩を遂げています。私はこのAIの技術を本市は先駆的にまた積極的に活用しそのモデルケースを作るパイオニア的役割を図っていくことが大事であると思います。後の設問5に繋がりますが、AIやロボット、ドローンを組み合わせた新たな技術創出都市へ繋がると思います。	

【設問5】 あなたが重要だと思ふ泉大津市における施策テーマについて、お聞かせください。

(任意記載項目)

(重要だと思ふテーマ)	※30字以内
AIやロボットなどを組み合わせ新たな技術創出都市を目指す	
(自由記述欄)	※そう思う理由、考える施策の方向性等。句読点含め100字以上200字以下
本市は臨海地域を除くと広い敷地がないため、大きな工場などは建てられません。そうすると小さい敷地で高付加価値を生み出す産業やサービスが求められます。特にAIやロボットの分野は今後ますます進展します。泉大津商工会議所1階にロボットセンターショールームがあるように、本市にはそうした技術力のある企業があります。本市が新しい技術のパイオニアとして牽引していくことが地域経済を活性化させる方策であると思います。	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。